TOSHIBA

東芝パッケージエアコン
（天井カセット形４方向吹出しタイプ）

気化式加湿器　取扱説明書

形名　TCB-HS905U
　　TCB-HS1605U

日本国内専用品
Use only in Japan

●このたびは東芝パッケージエアコン用「気化式加湿器」をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
●この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書と室内ユニットに付属されている取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
●お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。また、お使いになる方が代わられた場合は必ず本書をお渡しください。
●取付説明書を販売店または工事店から必ず受け取って保存してください。

仕　様

形　　名		TCB−HS905U	TCB−HS1605U
適用室内ユニット形名	店舗用 AIU−	AP407H、AP457H、AP507H、AP567H、AP637H AP717H、AP807H、RP711H、RP403H、RP453H RP503H、RP563H、RP633H、RP713H	AP1127H、AP1407H、AP1607H RP801H、RP1121H、RP1401H RP1601H、RP803H、RP1123H RP1403H、RP1603H
	マルチ用 MMU−	AP287H、AP367H、AP457H、AP567H、AP717H AP807H、AP907H、UP281H、UP361H UP451H、UP561H、UP711H、UP801H、UP901H	AP1127H、AP1407H、AP1607H UP801HD、UP901HD UP1121H、UP1401H、UP1601H
標準加湿能力		0.8kg/h	1.3kg/h
通過空気温湿度		DB45℃　15%RH	
外形寸法		515W×154H×162D mm	515W×217H×162D mm
加湿器本体質量		1.9kg	2.3kg
電源		単相AC200V　50/60Hz	
消費電力		3.5W	
電圧許容範囲		±10%	
絶縁抵抗		100MΩ以上	
絶縁耐圧		AC1500V　1分間印加異常なし	
一次側給水圧力		0.05〜0.5MPa（ポンプで給水する場合は0.05〜0.3MPa）	
使用水		上水道または、これと同等以上の水質のこと（水温5℃〜40℃）	
周囲温湿度		5℃〜40℃　90%RH以下	

※加湿能力は、TCB-HS905UをAIU-AP807Hに、TCB-HS1605UをAIU-AP1607Hに組み込み、加湿器入口温度DB 45℃·相対湿度15%RH·エアコン本体標準風量にて運転したときの能力です。

運転する前に

1.加湿器本体が確実に取り付けられていることを確認してください。
2.加湿器取付側のエアコン吹き出し口内にゴミなどが詰まっていないことを確認してください。
3.給水配管が正しく確実に接続されていることを確認してください。
4.電気配線が正しく確実に接続されていることを確認してください。

運転確認および開始

●加湿器を取り付けて初めて運転する場合には、必ず下記の手順で運転を行い、正常に動作することを確認してください。

①電源ブレーカーを入れてください。
②給水サービスバルブを開けて通水してください。
③エアコンの運転切換を 暖房 にしてください。
④温度設定を希望の温度にします。
⑤湿度調節器の湿度設定目盛を最大にします。
⑥運転／停止ボタンを押します。暖房運転と加湿運転を開始します。
⑦運転を停止するには再び、運転／停止ボタンを押します。
⑧加湿器の運転は圧縮機とインタロックしていますので、圧縮機が停止している時は加湿器も停止します。

運転中の注意

1.必ず給水サービスバルブは開けておいてください。
2.運転中はドレンが出ますが異常ではありません。
3.定期的に保守点検を行ってください。

長期間運転を休止（シーズンオフなど）するときは

1.給水サービスバルブを閉めておいてください。
2.シーズンオフ中に付着した汚れを取るために、シーズン開始時は運転前に必ず保守点検を行ってください。
3.シーズンオフ中に給水配管内の水は腐敗してしまいます。シーズン開始時は加湿器に通水する前に必ず給水配管内のフラッシングを行ってください。

長くご使用いただくために

保守点検は必ず行ってください。
（保守点検作業は専門の技術が必要ですので、必ずお買い上げの販売店または取扱店に依頼してください。）

特に加湿エレメントの点検は、加湿器としての性能を維持し、長くご使用いただくために最も重要な作業ですので、必ず行ってください。

保守点検

保守点検作業は専門の技術が必要ですので、必ずお買い上げの販売店または取扱店に依頼してください。

1.作業前の注意事項

1）必ず給水サービスバルブ（現地手配）を閉め、電源ブレーカーをOFFにしてください。
2）工具類は適正な寸法のものをご使用ください。締めすぎ・締め不足は故障の原因となります。
3）部品交換の場合は、必ず純正部品をご使用ください。
4）作業にあたってはいずれも安全に留意し、特に板金のエッジ部分や熱交換器の温度等に注意してください。

2.作業内容と必要工具

作業内容		周期	必要工具
一般保守	Y型ストレーナまたは、給水ストレーナ掃除	運転開始後1〜2日 その後は加湿エレメント洗浄の都度	モンキーレンチ（125mm程度）×2本 バケツ等（残水受容器）
	電装部点検	1シーズンごと	プラスドライバ（φ6）×１本
	加湿エレメント洗浄	1シーズンごと 汚れの状況により適宜周期を早める	プラスドライバ（φ6）×１本 モンキーレンチ（125mm程度）×2本 洗浄剤：台所用中性洗剤、水またはぬるま湯 洗浄用容器、ブラシ（やわらかいもの）
部品交換	加湿エレメント交換	3シーズンごと 汚れの状況により適宜周期を早める	プラスドライバ（φ6）×１本 モンキーレンチ（125mm程度）×2本
	給水用電磁弁取替	故障または破損時	
	減圧弁取替	故障または破損時	

（裏面につづく）

3.作業内容

1)Y型ストレーナの清掃

①給水配管のサービスバルブを閉めてください。
②死水排水バルブを開けて残水を抜いてください(バケツやウエスなどで対処)。(図-2)
③給水配管に付いているY型ストレーナのキャップを緩めて取りはずします。
④Y型ストレーナのメッシュ(筒状の網)をはずし、ゴミを洗い落としてください。
⑤Y型ストレーナにメッシュを入れ、キャップを確実に閉めてください。
※シーズン開始時には、Y型ストレーナの清掃を行ってください。

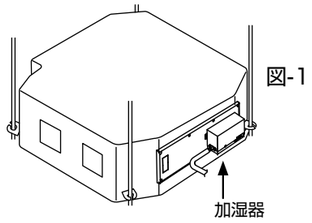


図-1

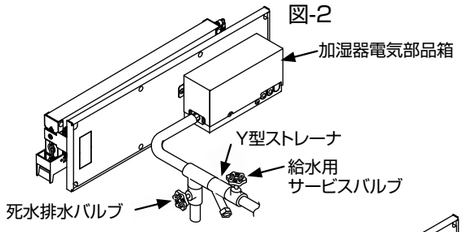
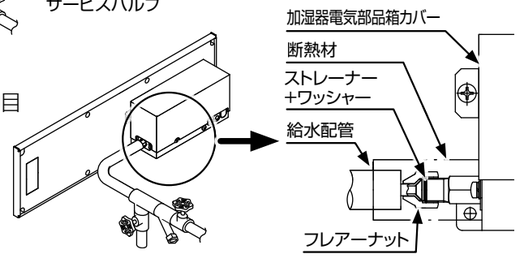


図-2

2)電装部の点検

①加湿器電気部品箱のカバーを開けて内部を点検し、以下の各項目をチェックしてください。
□PC板など電装部品に変色・変形・劣化などがないこと
□電線類に損傷のないこと
□各配線接続部分に緩み・はずれのないこと
□その他各部に異常のないこと
②不具合がありましたら、必ず修正し、復旧してください。



3)加湿エレメント洗浄

①給水配管のサービスバルブを閉めてください。
②電源ブレーカーをOFFにして、エアコン本体に接続している配線をはずしてください。
③給水配管の断熱材をはがし、フレアーナットをダブルスパナではずして加湿器本体をエアコンより取り出してください。このとき加湿エレメントがぬれていると、ドレン水が出る場合がありますので、バケツやウエスなどで対処してください。(図-3、4)
④加湿エレメントを取りはずし、洗浄を行ってください。(図-5、6、7)
⑤洗浄剤は市販の台所用中性洗剤をご使用ください。
⑥加湿エレメントが十分に入る大きさの洗浄用容器を用意し、洗浄剤と水またはぬるま湯を使い、やわらかなブラシで表面の汚れを取ってください。(図-8)
⑦十分に水洗いを行い、静置して水気を落としてください。
⑧逆の手順で元通りに加湿エレメントを組み付け、エアコンに取り付けてください。

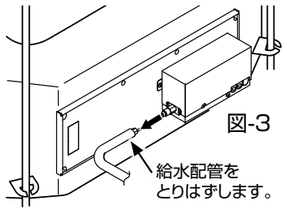


図-3

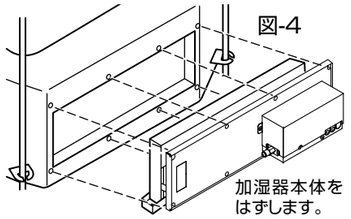


図-4

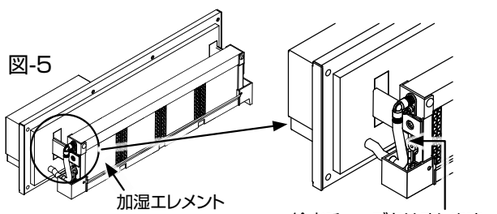
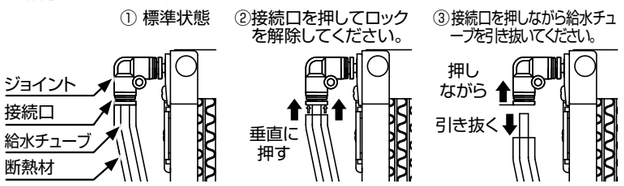


図-5

給水チューブをはずします。

<給水チューブの取りはずしかた>



<給水チューブの取り付けかた>

給水チューブを接続口の根本に突き当たるまで差し込んでください。
(このとき、チューブを軽く引っ張り、抜けないことを確認してください。)

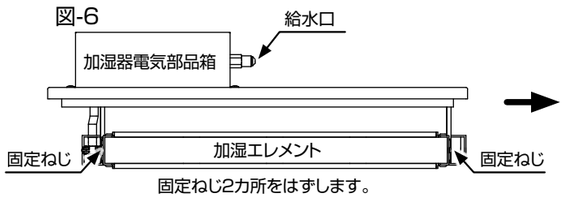
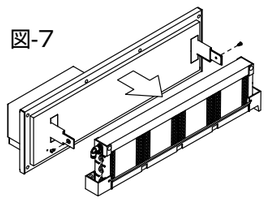


図-6

固定ねじ2カ所をはずします。


図-7

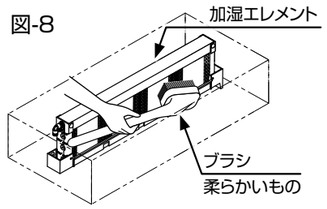


図-8

故障の原因と対策

1.故障チェックの前に

●保守点検作業時と同様に、安全には十分な配慮をしてください。

●加湿器が正常な動作を行わない場合、必ずしも故障しているとは限りません。

2.故障のチェックと処置 の前 に、まず以下の各項目をチェックしてください。
□電源ブレーカーはONになっていますか?
□給水サービスバルブが開いて通水していますか?
□加湿器を組み込んだエアコンは暖房運転していますか?
□室内の湿度調節器がONになっていますか?

2.故障チェックと処置

●故障チェックを行うときは電源ブレーカーをOFF にしてください。やむを得ず通電した状態でチェックする場合には、感電や短絡などに十分注意してください。

●下表の※印に該当する場合および加湿エレメントを交換する場合は、お買い上げの販売店または取扱店にお問い合わせください。

状　況	故　障　原　因	処　　置
運転しない	正しい電源AC200Vが供給されていない	正しい電源を供給する
	湿度調節器の設定が適正でない	湿度調節器を調整する
	湿度調節器不良	湿度調節器を取り替える
	加湿器を組み込んでいる空調機が停止している	空調機を運転する
給水しない	給水配管の給水サービスバルブが閉まっている	サービスバルブを開ける
	Y型ストレーナの目詰まり	ストレーナを掃除する
	※電磁弁にAC200Vが供給されても動作しない	電磁弁を取り替える
	※減圧弁不良	減圧弁を取り替える
加湿不足	加湿エレメントの汚れ	洗浄または交換する
	給水圧力の不足	0.05 ～0.5MPa(ポンプ使用時は0.3MPa以下)に調整する
漏水	配管接続部からの漏水	配管接続部を増締め、または部品交換する
	給水管への結露	断熱処理を施す
異常音	給水圧力が仕様圧力を超えている	0.05 ～0.5MPa(ポンプ使用時は0.3MPa以下)に調整する
	※電磁弁のうなり音	電磁弁またはPC板を取り替える
	減圧弁の振動音	配管内のエア抜きを行う
異臭	水質が悪い	加湿エレメントを洗浄または交換すると同時に、水質をチェックし改善する
	加湿エレメントがひどく汚れている	洗浄または交換する
	ドレンパンが汚れている	ドレンパンを掃除する